

## 第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P4101
-------	-------

### 【基本構想／施策の体系】

基本構想	4 環境の未来	施策の体系	01.便利で快適な生活環境づくりのための生活道路・公園施設の充実
施策の方針	身近な地区の生活道路環境及び公園・憩いの空間づくりについて、地区別計画に基づくまちづくり活動と整合した支援をしていきます。 ・各地域の状況に応じた生活道路網の充実を図る ・各地域のニーズに応じた身近な公園づくりを推進する ・便利な案内サインの整備推進		

担当部署	主管課	建設下水道課
	関係課1	地域振興課
	関係課2	
	関係課3	

### 【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【道路施設の充実】生活道路として必要な幹線道路のネットワーク計画を策定すると共に、町民生活における交通環境の改善を図り、地域住民が安心して生活できる道路網を構築する。</li> <li>・【道路維持管理事業】道路・橋りょうの機能保持及び損傷部分の修理又は、施設の更新を目的とした道路維持管理事業を行っており、路面の異常、障害物等に起因する事故を防止し、安全に走行出来る空間や視認性の実現につながるものである。令和元年度までは、地区要望及び道路パトロール等により確認できた舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修等を行っている。</li> <li>・【住民参加による維持管理の推進】地域の生活環境を良好に維持するため、地区に対して道路補修材の提供や重機の貸し出しを行うなど道路維持管理を推進している。</li> <li>・【各地区における憩いの空間づくり事業】憩いの場は地区づくり活動で整備を推進している。なお、地区公園の整備は、地区要望により検討する方針である。</li> <li>・【公共サインの検討及び整備】主要道や市町村境界に町名を示すサインや施設への案内看板の設置・維持管理を行う。</li> </ul>
--------------	---

### 【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	道路施設の充実(道路新設改良業務)	97,133	建設下水道課	道路改良率(%)	65.3	65.3	66				68	B
2	道路維持管理事業(道路・橋りょう等維持修繕業務)	73,419	建設下水道課	橋梁点検率(%)	88.6	100	100				100	A

3	住民参加による維持管理の推進	0	建設下水道課	各地区への原材料の支給(地区)	14	10	10				39	B
4	各地区における憩いの空間づくり事業	0	地域振興課	憩いの場、地区公園の整備	0	0	0				実施	B
5	公共サインの検討及び整備	0	地域振興課	統一サインへの順次切替	なし	なし	なし				順次切替	B
6												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【道路施設の充実】地元優先で農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ないことから、工期が年度末となり、職員や請負業者の負担となっている。適正工期と品質を確保するために発注時期の平準化が望まれる。</li> <li>・【道路維持管理】町内道路の舗装や構造物などに老朽化が見られるため、計画的な維持修繕の実施が喫緊の課題であり、これに必要な予算の確保が求められる。</li> <li>・【住民参加による維持管理の推進】各地区からの必要数を適確に把握していく。</li> <li>・【各地区における憩いの空間づくり事業】地区で管理する地区公園は、施設を管理する地域住民の担い手不足などにより維持管理が困難になりつつある。</li> <li>・【公共サインの検討及び整備】公共サインの支柱は木製であり、今後、交換時は使用材質を考慮する必要がある。また、経年劣化に伴う補修が今後増加する見込みであり、各々のサイン毎に撤去も含め管理方法を検討する。</li> </ul>
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【道路施設の充実】発注者・受注者の負担を軽減し適切な工期を確保するため、発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。</li> <li>・【道路維持管理】修繕・工事において、地区の要望を達成する。</li> <li>・【住民参加による維持管理の推進】今後も地区からの申し出により道路補修材等の支給及び機材の貸し出しを行う。</li> <li>・【各地区における憩いの空間づくり事業】憩いの場や地区公園などについては、維持管理を地域住民自らが行う体制づくりを前提とする等ルールづくりや意識の醸成が必要である。</li> <li>・【公共サインの検討及び整備】補修が必要な物件の早期発見により、補修費用を必要最小限に抑えられるよう努める。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【公営住宅等ストックの長寿命化事業】長寿命化計画を変更し実施しているが、現状を見ながらの実施が必要である。</li> <li>・【宅地分譲・住まいの確保】宅地分譲について内容を整理し事業の方向性を決定する必要がある。</li> </ul>
<p>今後の 施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【公営住宅等ストックの長寿命化事業】氷川町公営住宅等長寿命化計画を現状に合わせて変更しながら、計画的な改修を実施し、長寿命化を図る。</li> <li>・【宅地分譲・住まいの確保】老朽化した町営住宅を解体後、民間との建築協定による宅地分譲等の検討を行っていく。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------

## 第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P4103
-------	-------

### 【基本構想／施策の体系】

基本構想	4 環境の未来	施策の体系	03.移住定住にむけた魅力的な生活環境整備と情報発信
施策の方針	移住定住の促進にむけて、魅力的な生活環境整備と情報発信をしていきます。 ・空き家を活用した住まいの提供 ・移住定住の促進にむけた情報発信やイベントの開催		

担当部署	主管課	地域振興課
	関係課1	建設下水道課
	関係課2	企画財政課
	関係課3	

### 【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【空き家活用事業】空き家の有効活用につなげるため、空き家バンクに登録された物件を、町内への移住定住を目的とする空き家利用希望者に紹介している。さらに空き家バンク促進補助金により空き家活用を促進している。</li> <li>・【婚活応援事業】婚活イベントについては、八代市及び芦北町との「定住自立圏」で共同で開催している。また、登録制度及び婚活イベント参加支援助成金制度の利用を促している。</li> <li>・【町の魅力発信事業】平成28年度に作成した町のPRパンフレットやPR動画のほか、氷川町キャラクター「ひかりん」を活用し、町内外のイベントなどでPR活動を行っている。また、町ホームページや広報誌において、空き家バンク情報や移住定住情報を随時紹介しているほか、フェイスブック、Instagram、LINEなどのSNSを活用した情報発信も行っており、行政情報やまちの魅力を広く発信している。</li> <li>・【移住者に対する支援事業】大都市圏で開催される県主催の移住相談会に年3回程度参加。平成30年度より八代市・芦北町と合同で参加し、相談ブースを合同で設け、相談後のフォローも連携して行っている。移住体験住宅を平成30年度に整備し、町のお試し暮らしを体験できる場を提供することが可能となった。</li> </ul>
--------------	--

### 【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	空き家活用事業	5,019	建設下水道課	空き家バンク年間登録戸数(戸)	5	10	17				10	A
2	婚活応援事業	379	地域振興課	参加者数(人)	61	103	86 (※1回中止)				150	B
3	町の魅力発信事業	1,001	企画財政課	町ホームページアクセス件数月 平均(件)	15,153	23,718	24,337				20,000	A

4	移住総合情報発信ツール制作事業	0	地域振興課	移住相談会等での年間新規相談件数(件)	5	6	17				10	A
5	移住者に対する支援策の創設	596	地域振興課	移住施策活用による移住者数(人)	3	10	16				3	A
6	地区環境の保全と受け入れ態勢の検討	0	地域振興課	受入体制整備完了地区数(地区)	-	0	0				3	C
7												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【空き家活用事業】空き家バンク利用登録数は多いが、空き家バンク登録物件数が少ないため増やしていく必要がある。</li> <li>・【婚活応援事業】婚活イベントでマッチング後のフォローはプライベートな問題もあり、積極的な介入は難しいため成婚の手助けとなる方法について考えていきたい。</li> <li>・【町の魅力発信事業】SNSにおいてはフォロワー数の増加が課題である。(フェイスブック125名、インスタグラム410名、LINE125名(R2.4.17時点))町の認知度向上のため、新たなひかりんグッズやPRグッズを考えていきたい。</li> <li>・【移住者に対する支援策の創設・移住総合情報発信ツール制作事業】大都市圏での本町の認知度は低く、移住相談そのものも少ない。移住希望者に対し、住まい情報の提供ができない。空き家バンクへの物件登録も少なく、紹介できる物件が圧倒的に不足している。また、仮に物件があったとしても、移住希望者とのマッチングがうまくいかないことが多い。</li> </ul>
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【空き家活用事業】空き家バンクへの登録促進の継続実施。(広報誌や固定資産税納税通知発送の際)</li> <li>・【婚活応援事業】定住自立圏婚活事業として八代市、氷川町、芦北町の3市町で各1回、計3回の婚活イベントを行う。八代市、芦北町独自の婚活イベントについては、氷川町婚活登録制度に登録している方たちへメルマガや参加支援助成金事業などを利用しバックアップを継続していく。</li> <li>・【町の魅力発信事業】ひかりんの認知度は年々上がってきており、各種イベントでの出演依頼も増えてきている。より幅広い年齢層へ情報発信するために、平成30年度にインスタグラム、令和元年度にLINEを開設したところ、フォロワー数が増加傾向となったため、今後も定期的に発信していく。PRパンフレットとPR動画は好評のため継続していく。</li> <li>・【移住者に対する支援策の創設】県主催のオンライン相談会等へ継続的に参加し、町の認知度アップを目指す。また、移住希望者への対応を八代市・芦北町と連携して行い、定住自立圏全域で相談対応を行っていく。相談者や移住希望者に対し、継続的な情報発信を行う。移住体験住宅の積極的な活用とPRを行う。移住希望者に対して、住まい情報の提供を常時可能にするため、空き家バンクの登録状況を充実させ、また民間業者とも不動産情報の連携強化を図っていく。</li> <li>・【地区環境の保全と受け入れ態勢の検討】地区と連携して移住者の受け入れ体制整備を検討する。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【新幹線新駅南北アクセス道路整備事業】必要性を検証し、長期計画の方向性を決定する。</li> <li>・【宇城氷川スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業】現時点では、事業内容（ルート検討等）の明確化が出来ていない。</li> <li>・【生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業】住民ニーズと整備計画の一体化を図り、地域生活への貢献度が高い道路整備の実施を目指す。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【新幹線新駅南北アクセス道路整備事業】現在、役場前の幹線道路整備を実施しており、当事業については長期計画として方向性を決定する。</li> <li>・【シンボル道路整備事業】関係機関と十分な協議を行い、主要道路又は通学路として安全な道路改良計画を策定し、順次地元へ周知、理解を求めていく。</li> <li>・【生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業】地区要望の中から重要度並びに住民生活への貢献度が高い道路について、氷川町道路整備基本計画に基づき、道路整備を実施する。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>C</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーの台数に限りがあるため、依頼してもすぐに来ない場合がある。</li> <li>・タクシー助成制度がどれくらい浸透しているか把握できていない。</li> <li>・交通弱者の移動手段として、新たに交通網の整備をするにあたっての費用、周辺事業者等の承諾や認可の可否。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー助成制度について、包括支援センターや民生委員を通じて紹介したり、ホームページや防災無線、広報誌を利用して、定期的に紹介する。</li> <li>・利用者へのアンケートによる調査やタクシー事業所と協議をし、実証実験の検証を行うことで、終了後の方針を定める。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・小中学校へのEM発酵液配布・啓発は行っているが、各家庭への普及啓発が不足している。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・広報誌やホームページ等を活用した啓発及び宮原まちづくり株式会社と連携した出前講座等を実施し、普及を図る。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【下水道処理の広域化推進事業】県が主導的役割を果たしているが、本町における不明水等の課題も出てきており、広域化に向けて県と連携しながら課題解決に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・【生活排水対策事業】下水道計画区域外の地域において、氷川町浄化槽設置整備事業補助金を活用し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境に負荷の少ない合併処理浄化槽へ転換させる働きかけを行っているが、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭もまだ多い状況である。</li> <li>・【加入促進対策事業】接続者の負担増により加入率低下を招くことが懸念されるが、補助制度が現在のニーズとマッチしているのかも確認していく必要がある。</li> <li>・【水洗便所改造促進事業】人口減及び高齢化により、下水道事業における収入・財源不足が懸念される。竜北処理区の水洗化普及率を向上させるための施策が必要。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【下水道処理の広域化推進事業】宮原処理区については、八代北部流域下水道の流域幹線として、熊本県が事業主体となり整備を実施するため、今後も県との協議を密にしていく。</li> <li>・【生活排水対策事業】町広報誌・ホームページ等を活用して氷川町浄化槽設置整備事業補助金について町民に周知し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換させる働きかけを行っていく。</li> <li>・【加入促進対策事業】町広報誌・ホームページ等を活用して下水道接続の加入促進を実施する。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出】随時、対象箇所の状況を把握する必要がある。</li> <li>・【農集維持管理事業】施設の維持管理のため継続的な予算確保が必要。</li> </ul>
<p>今後の 施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出】年間の草刈等の回数を増やし適正管理を実施する。</li> <li>・【農集維持管理事業】今後も継続的な施設の維持管理を行っていく。</li> </ul>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【氷川を楽しむための総合的な環境整備の推進】氷川河川区域の雑木・雑草及び土砂の堆積により、河川の景観や環境の悪化が懸念されている。</li> <li>・【氷川に親しむ学習機会の創出】例年子ども達の夏休み時期に開催しているが、参加人数は減少傾向にある。</li> <li>・【川沿いの緑化支援】地区づくり活動で川沿い緑化の取り組みを行う地区は微増している。</li> <li>・【ホタルを守るための河川・水路環境の改善】治水、利水を目的とした水路の改修整備を主としており、多自然化を目的とする事業の取り組みについては、事業内容の見直しが必要と思われる。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【氷川を楽しむための総合的な環境整備の推進】2級河川氷川を管理している熊本県に対して、課題解決に向けて事業を実施してもらうよう、要望活動を継続する。</li> <li>・【川沿いの緑化支援】川沿いの緑化の取組に対し、地区への周知啓発と補助金等による財政的な支援を行っていく。</li> <li>・【ホタルを守るための河川・水路環境の改善】治水、利水を目的とした水路の改修整備を主としており、多自然化を目的とする事業の取り組みについては、事業内容の見直しが必要と思われる。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動については、広報誌やSNSを通じて氷川流域の住民に対しても参加を募っているが、参加者が非常に少ない状況である。</li> <li>・節水に対する意識啓発がうまく出来ておらず、町民の「水を大切にする」意識が低いように感じられる。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷川流域の住民に対して環境保全の大切さを伝えるため、協議会のSNS等で活動内容を定期的に掲載する。</li> <li>・暮らしの面では広報誌・ホームページ等を活用した各種情報提供と啓発活動を進める。産業面では商工業団体、農業団体を中心に節水運動を促進し、水を大切にする意識啓発に取り組む。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【花いっぱい運動の推進】花いっぱい運動は、17地区で実施している。毎年増減があるが、実施中の地区には継続の、未実施の地区へは取り組みの啓発が必要である。</li> <li>・【多面的機能支払交付金事業】事業に取り組むための保全隊を組織する地区も増加しているなど、地区独自での基盤整備に取り組む意識向上が見られる。未結成の地区もあるため、事業のPRを図っていくなど更なる拡大が必要である。事業費もある程度確保できているので、積極的な活用が望まれる。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【花いっぱい運動の推進】花いっぱい運動は、町内全地区で取り組みを実施して頂くよう啓発を図る。</li> <li>・【多面的機能支払交付金事業】町内で結成が必要な地区に前向きに検討してもらい、ほぼ町内全域で組織を結成してもらうなど積極的な事業活用に努める。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>A</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・立神峡公園における環境学習は、子どもたちの宿泊学習の際に併せて実施しているものや、宿泊者への体験イベント等での実施のみとなっており、広い世代へ環境学習の場を提供できるようなイベント実施が出来ていない。里山フェスタも2年間未実施であることから協議や実施方法の検討が必要である。</p>
<p>今後の施策展開</p>	<p>・森林インストラクターの受け入れ体制や、里山イベントの再開に向け、管理者側と協議し、運営できる体制づくりに努める。</p>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>C</p>
-------------	----------



【今後の方針】

施策の課題	・まちづくり条例の適用区域外での建築協定や景観の形成が図ることができない。
今後の施策展開	・まちづくり条例の適用区域の検討、または見直しが必要と考える。

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
B: 目標に向かってある程度進んでいる  
C: 目標に向かってあまり進んでいない  
D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	C
------	---



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・町国土利用計画及び町土地利用計画を策定しており、運用にあたってはまちづくり条例での誘導が可能となっている。しかし、現在のまちづくり条例の適用区域が宮原地区に限定されているため、竜北地区における誘導が課題である。</p>
<p>今後の施策展開</p>	<p>・現在のまちづくり条例の適用区域が宮原地区となっているため、町国土利用計画及び町土地利用計画との整合性を図り、また、熊本県景観計画（県景観条例）等を参考にしながら、まちづくり条例全般の見直しが必要である。しかし、まちづくり条例における事業者と地元住民との計画段階での合意形成は有効と考えられる。</p>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【立神峡公園施設の活用・維持管理】立神峡公園については、指定管理による管理実施と併せ環境学習プログラムの企画運営や、里山を利用した環境学習、森林インストラクター事業の実施等を委託しているが、施設管理と運営面・収益の関係でここ2年実施が出来ていない状況にある。指定管理者への指導と、適切な実施に向けた協議を実施し、今後の実施に繋げていく必要がある。</li> <li>・【学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施】SNSやホームページを使った積極的な情報発信を行って、参加者を増やす必要がある。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【立神峡公園施設の活用・維持管理】自然公園の整備に利用出来る県の補助金事業を積極に取り入れ、立神峡公園の環境整備に努めるとともに、県事業実施の要件である森林学習や森林インストラクターを活用した環境学習を指定管理者と共同して実施し、自然資源を残した環境学習の場としての利用促進を図る。</li> <li>・【学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施】イベントや環境に関する広報方法の再考が必要と思われる。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・里山を利用した事業の展開、実施方法のノウハウの取得。指定管理者との連携実施。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・自然公園における整備の県補助事業を受けるにあたり、森林インストラクターを利用した環境学習の実施が必要であることから、積極的な利用と受け入れ体制の構築を、管理者と協議し実施していく。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>D</p>
------------------	----------

## 第2次氷川町総合振興計画／施策評価シート(令和元年度)

施策コード	P4601
-------	-------

### 【基本構想／施策の体系】

基本構想	4 環境の未来	施策の体系	01.家庭や身近な地域から始まる循環型社会づくりを目指したりサイクルやごみの減量化・分別活動の推進
施策の方針	<p>ごみの分別収集・リサイクル活動をはじめ、環境にやさしい暮らしを推進するための意識啓発や各種活動への支援を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集及びリサイクルの仕組みづくりと運営体制の充実を図る</li> <li>・循環型の地域社会形成のための啓発活動を進める</li> </ul>		

担当部署	主管課	町民課
	関係課1	
	関係課2	
	関係課3	

### 【施策の現状】

施策の現状、取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【ごみ収集委託】生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として、町内のごみステーションに出された一般廃棄物の収集運搬。</li> <li>・【リサイクル推進事業】毎月第3日曜日に町内全地区で実施している20分別リサイクル収集により、廃棄物を資源としてリサイクルすることでごみの量が削減されている。</li> <li>・【生ごみ排出抑制、廃棄物再利用の環境整備】電気式生ごみ処理機購入費の補助により、家庭から排出される生ごみの減量化が図られている。</li> <li>・【ごみ減量化推進】「分別区分早見表」の作成、広報等を活用した意識啓発。</li> <li>・【地球環境の保全、資源の再利用の推進】地球温暖化防止推進委員と連携した学習会（講座）の開催。</li> </ul>
--------------	---

### 【事業名称、指標名】

No.	事業名称	R元事業費 (決算:千円)	担当課	指標名	基準値 (H29)	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	最終目標 (R9)	進捗 評価
1	ごみ収集委託	21,710	町民課	ごみ発生トン数(t)	4,000	3,720	3,421				3,362.5 (R5)	B
2	リサイクル推進事業の拡充	0	町民課	資源ごみ回収量(t/年)	29	35	142				84	B
3	生ごみ活用による排出抑制の検討	1,720	町民課	家庭用助成件数、事業所用件数 (t)	家庭用0 件、事業用 0件	家庭用20 件、 事業用0件	家庭用65件 事業用0件				家庭用100 件、事業所 用5件	B
4	資源の再利用の推進	0	町民課	学習会参加者数(人)	未実施	未実施	40				30	B
5	ごみ減量化推進啓発事業	0	町民課	ごみ発生トン数(t)	4,000	3,720	3,421				3,362.5 (R5)	B

6	廃棄物の処理・再利用の環境整備	0	町民課	ごみ発生トン数(t)	4,000	3,720	3,421				3,362.5 (R5)	B
7	地球環境の保全に向けた普及啓発及び活動の推進	0	町民課	地球温暖化防止活動推進委員(人)	2	2	1				2	B
8	子どもエコ学習・意識啓発	0	町民課	コンクール参加者(3年毎)(人)	未実施	911	未実施				200	B
9												

【今後の方針】

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみステーションに出されている家庭からのごみの内容を見ると、資源としてリサイクルできる衣類・ペットボトル・プラスチック製容器包装などが混入しており、リサイクルに対するさらなる意識の向上が求められる。</li> <li>生ごみ処理機を所有する世帯が少ない。</li> </ul>
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌・ホームページ等を活用し、ごみ減量化のため、住民・事業所へリサイクル推進に向けた啓発活動を行う。</li> <li>生ごみ処理機で水分を蒸発させることで生ごみの重量を大幅に削減できるため、その効果及び購入費補助について周知を行う。</li> </ul>

【評価指標】

- A: 目標に向かって順調に進んでいる
- B: 目標に向かってある程度進んでいる
- C: 目標に向かってあまり進んでいない
- D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
総合評価の目標: 施策の方針

総合評価	B
------	---



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<p>・クリーンエネルギーを含めた省エネ活動の推進に向けた情報提供、意識啓発ができていない。</p>
<p>今後の 施策展開</p>	<p>・広報誌・ホームページ等によりクリーンエネルギー活用のPR・啓発活動を行い、「氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金」についても周知を行う。</p>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合 評価</p>	<p>B</p>
------------------	----------



【今後の方針】

<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【環境美化一斉行動】清掃に参加される人が固定化しつつあり、参加率が向上しない。</li> <li>・【不法投棄防止事業】不法投棄の件数が減少しない。</li> </ul>
<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【環境美化一斉行動】各種団体と連携を図りながら清掃活動の参加者を増やす取り組みの検討・実施。</li> <li>・【不法投棄防止事業】不法投棄を未然に防止するため、効果的な不法投棄パトロール方法の検討・実施。</li> </ul>

【評価指標】

A: 目標に向かって順調に進んでいる  
 B: 目標に向かってある程度進んでいる  
 C: 目標に向かってあまり進んでいない  
 D: 目標の達成には遠く、早急に見直しが必要である

※進捗評価の目標: 数値目標  
 総合評価の目標: 施策の方針

<p>総合評価</p>	<p>B</p>
-------------	----------